

データ多摩特別編

# 東日本大震災から5年 住民生活の現実

東日本大震災から五年がたち、改めて被災地の住民生活の事実を見るために、資料を掲載します。

資料1は昨年の九月九日の段階で、消防庁がまとめた被害状況のデータを引用しました。人的被害だけを見ても死者一九九、三三五人、行方不明者二、六〇〇人、負傷者六、二一九人と、とても痛ましい数字ですが、この死者数には後述する震災関連死は含まれていません。

また、復興の厳しい現実を端的にあらわすのが資料2の所在地別避難者数です。これは今年一月一四日の復興庁のデータをもとに作成された物で、全国で一七万七、八六六人が未だに避難を余儀なくされているのが分かります。

県外の各市町村への避難状況は、資料3に掲載されていて、全国の合計は四万三、四九七人になります。これらを丁寧に見ていく必要があるかと思えます、これは生まれ育った町からバラバラに離れなければならない住民の数字であり、人生設計を壊され、これからどう生きていくかが見えなくなった住民の数字です。

資料4を見ると、避難指示区域出身の住民の中で、「被災当時の地に戻りたい」との回答は五割を超えず、「現在地で生活したい」、「まだ決めていない」という回答も一定数あります。この戻りたくないという回答の意図には、放射能汚染があることは言うまでもないと思えます。避難をしている被災者の方々の生活像をきちんと見直す必要があります。

資料5に記載されている震災関連死では、圧倒的に六五歳以上の死者が多いことが分かります。さらに福島県の死者の多さからも、原発事故後、被災者の不安、絶望を感じます。

このように震災で人生を奪われた被災者の現実を数字にもあらわれています。一番尊重されるべき命について考えさせられます。

(多摩住民自治研究所主催 第二四回「議員の学校」池上洋通氏講演より、資料と発言を一部引用、)

資料1 東日本大震災の被害状況 (2015年9月9日現在)			
(1) 人的被害		(2) 住家被害	
死者	19,335人	全壊	124,690棟
行方不明者	2,600人	半壊	275,118棟
負傷者	6,219人	一部破損	764,843棟
		床上浸水	3,352棟
		床下浸水	10,230棟
		(3) 非住家被害	
		公共建物	14,307棟
		その他	77,202棟
総務省・消防庁			

資料2 所在地別避難者数 (2016年1月14日現在)

所在地域	施設別			計	前回比※	市区町村数
	公営・仮設・民間賃貸等 A	親戚・知人宅等 B	病院等 C			
全国	159,123	18,297	446	177,866	-4,134	1,140
東北	130,689	5,410	97	136,196	-3,910	207
岩手県	22,222	455	5	22,682	-843	①29
宮城県	47,493	1,180	5	48,687	-1,525	①34
福島県	54,083	②2,255	②—	56,338	-1,437	①46
その他	6,891	1,520	87	8,498	-102	98

復興庁「全国避難者の数」より作成。 ※前回は2015年12月10日

①掲載数字以上の市町村数である可能性がある。

②福島県のB欄には病院等の施設、社宅等が含まれる。

◆県外避難者数 福島県=43,270人、宮城県=6,444人、岩手県=1,474人

資料3 福島県民の県外避難状況 (2015年12月10日現在)

県別	所在施設等			県別	所在施設等		
	親族・知人宅	公営・仮設・民間賃貸ほか	計		親族・知人宅	公営・仮設・民間住宅ほか	計
北海道	188	153	341	滋賀	54	97	151
青森	188	153	341	京都	165	318	483
岩手	182	316	498	大阪	87	376	463
宮城	1,101	1,514	2,615	兵庫	134	346	480
秋田	241	375	616	奈良	31	48	79
山形	554	2,658	3,212	和歌山	11	16	27
福島	—	—	—	鳥取	22	70	92
茨城	1,124	2,395	3,519	島根	9	59	68
栃木	696	2,119	2,815	岡山	104	193	297
群馬	271	878	1,149	広島	99	113	212
埼玉	1,476	3,162	4,638	山口	19	48	67
千葉	1,165	1,676	2,841	徳島	7	26	33
東京	1,287	4,521	5,808	香川	1	44	45
神奈川	1,615	1,454	3,069	愛媛	56	28	84
新潟	134	3,415	3,549	高知	30	16	46
富山	58	93	151	福岡	75	258	333
石川	31	183	214	佐賀	15	59	74
福井	28	140	168	長崎	11	67	78
山梨	86	498	584	熊本	43	62	105
長野	144	643	787	大分	1	101	102
岐阜	47	136	183	宮崎	31	100	131
静岡	171	411	582	鹿児島	18	87	105
愛知	60	592	652	沖縄	13	475	488
三重	51	125	176	合計	12,010	31,487	43,497

福島県 復興庁「全国避難者の数」から福島県資料を抽出したもの。

資料4 福島県避難者「今後の生活地」の調査回答 (2014.1調査) (%)					
避難先別	出身区域別	被災当時の地に 戻りたい	現在地で生 活したい	まだ決めて いない	無回答 その他
県内	避難指示区域	45.5	16.5	13.8	24.2
	〃 〃 以外	29.6	16.5	9.8	44.1
	全体	37.3	16.5	11.7	34.5
県外	避難指示区域	22.0	18.6	31.6	27.8
	〃 〃 以外	17.1	27.0	36.3	19.6
	全体	17.5	26.4	36.0	20.1
福島県					

資料5 県別に見た震災関連死者数 2015年9月30日現在				
県別	総数	年齢別		
		20歳以下	21から65歳	65歳以上
総数	3,407	7	382	3,018
岩手県	455	1	59	395
宮城県	918	2	117	799
山形県	2	0	1	1
福島県	1,979	1	196	1,782
茨城県	41	2	6	33
埼玉県	1	0	1	0
千葉県	4	0	1	3
東京都	1	1	0	0
神奈川県	3	0	1	2
長野県※	3	0	0	3
復興庁				